



おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回作品づくりと一緒にDIYの基礎知識を紹介していきます。第8回の作品は「ミニ木箱」です。植物を入れたり、小物を入れたり、いろんな使い方ができる便利なアイテムです。基礎知識は、持ち手の素材について教わります。

◇ミニ木箱◇

材 料

杉板【A側材】250×24×12×6【B側材】100×104×12×2

【C底板】226×24×12×3【D脚】98×24×12×2

【E持ち手】250×24×12×3

スリムビス25ミリ 26本、スリムビス20ミリ 10本、木工用ボンド、紙やすり（180番）

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。

※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントとUVクリアコートを使用しています。

道 具

ドリルドライバー、ドリルビット（2ミリ）、ドライバービット（+1）、定規、スコヤ、キリ、ヘラ（ボンド用）、塗装用スポンジとウェス、木杵や捨て板等



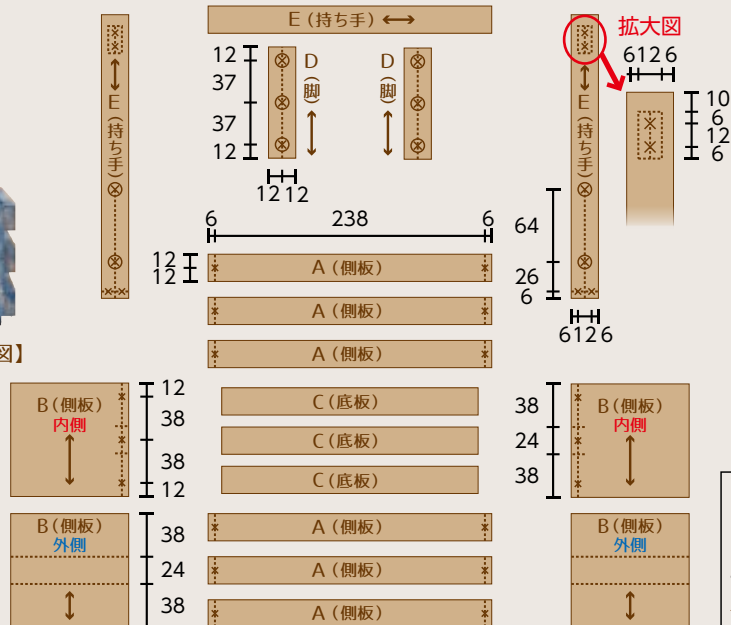
木取り図 単位：mm（ミリ）



完成図 単位：mm（ミリ）



加工図 単位：mm（ミリ）



講師紹介

スマイルウッド代表
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点をおうちへ。木のもののづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

- × スリムビス25mmのビス位置
- ⊗ スリムビス20mmのビス位置
- 下穴・ビス位置・合わせ位置をつけるためのえんぴつ線
- 木目の方向

スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの多い木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のスツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーバリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住 所 伊賀市笠部 533
開講時間 水曜・土曜 13:30～17:00
 ※応相談。要電話予約

TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方



①印をつける
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。



②下穴をあける
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。



③組み立て
接着面にボンドを塗り、ドライバースクリュー(+1)を付けたドリルドライバーでビス締めします。組み立ての順番は次のとおりです。



③(1) B側板とC底板をつけます。クランプでとめるとずれにくくなります。



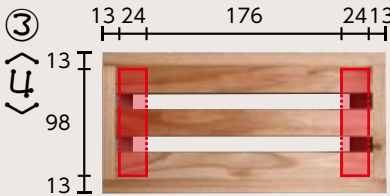
真ん中の部品をつける時は、位置合わせの印に合わせてつけましょう。



③(2)<1>ともう一枚のB側板をつけます。



③(3)<2>とA側板をつけます。底に近い方の部材からつけましょう。



③(4)<3>の作品の裏側に、えんぴつで脚をつける位置の印をつけます。印に合わせてD脚をつけます。



③(5)<4>とF持ち手をつけます。両側の縦棒→横棒の順につけましょう。(ビスの長さに注意してください。)



④やすりかけ
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。



⑤塗装
広い面は小さくきったスポンジのざらざら面で塗ると、塗料を塗りすぎずナチュラルな雰囲気になります。こまかいところは綿棒をつかうとよいでしょう。植物を入れて使う場合には、塗装が乾いてからUVクリアコートを塗るとよいです。



こちらのタイプは背の高い植物も入れられるので嬉しいですよ。



持ち手を変えるだけで作品の幅が広がりますよ。太めのロープは、紙袋の持ち手を活用してもいいですね。

講師 岡さつきさん



おすすめディスプレイ



植木鉢を入れる際にMAXペーパーやラッピングペーパー、お花包装用の不織布などを敷くのもよいですね。また土の部分が見えないように「やしの織錐」などで覆うと、見た目モアッ。保湿度、保温性も高まるので適宜活用しましょう。※今回の作品は、スマイルウッドでも体験できます

今回の基礎知識! 【いろいろな素材を楽しもう パート2】

今月は持ち手のバリエーションを増やしてみました。持ち手があると木箱を運びやすいという機能性だけではなく、デザイン性も高まります。木の持ち手以外にも、荷造りロープや麻ひもなど素材の違いを楽しんでみましょう。植物を入れて使う際には、土や水で重くなっていますので、吊り下げて使う場合や頻繁に持ち運ぶ際には、たくさん入れすぎないようにご注意ください。

